

試験研究成果普及情報

部門	病害虫	対象	普及
課題名：ラッカセイ茎腐病の効果的な防除法			
<p>[要約] ラッカセイ茎腐病の対策には、(1) 栽培前の緑肥すき込み、(2) 1次感染期(初発時)の6月中～下旬及び2次感染期の8月上～中旬におけるチオファネートメチル水和剤又はベノミル水和剤の散布、(3) 発病株の速やかな除去が有効であり、これらの組合せで効果的に防除できる。</p>			
フリーワード ^o ラッカセイ、茎腐病、殺菌剤、抜き取り、緑肥			
実施機関名	主 査	農林総合研究センター 最重点プロジェクト研究室	
	協力機関	農林総合研究センター 病理昆虫研究室、水稲・畑地園芸研究所 畑地利用研究室、生産振興課、印旛農業事務所、海匝農業事務所	
実施期間	2015年度～2017年度		

[目的及び背景]

近年、生産現場ではラッカセイ茎腐病（以下、茎腐病とする）が多発し、減収の要因となっている。そこで、本病の発生を抑制し落花生の安定生産に寄与するため、防除に有効な薬剤とその処理適期を明らかにする。加えて、耕種的な管理による発病軽減効果を調査し、これらを踏まえて本病の防除対策を確立する。

[成果内容]

- 1 本病に対してはチオファネートメチル水和剤（トップジン M 水和剤）1,500 倍液又はベノミル水和剤（ベンレート水和剤）2,000 倍液の散布が有効である（図1）。
- 2 茎腐病の多発条件下では初期防除が非常に重要であるという過去の知見と、本研究の結果（図2、図3）から、防除薬剤の処理適期として1次感染期（初発時）の6月中～下旬及び2次感染期の8月上～中旬が特に推奨される。また、発病は隣接株へ広がる場合が多く、発病株の速やかな除去も発病を軽減するうえで重要である（図3）。
- 3 落花生栽培前に緑肥作物のチャガラシ又は野生エンバクをすき込むと、効果は緩慢ながら茎腐病の発病が遅延し、軽減される（図4）。
- 4 以上より、茎腐病を効果的に防除するためには、落花生栽培前の緑肥すき込み、生育期の2回の処理適期における有効薬剤の散布、発病株の速やかな除去、の3つを組み合わせた管理が重要と考えられる（図5）。なお、鳥害等の対策として、播種時にはチウラム水和剤（キヒゲン R-2 フロアブル）の種子塗沫処理を合わせて行う。

[留意事項]

- 1 除去した発病株が圃場内又は圃場の近傍に存在すると新たな感染源となるため、抜

き取り後は速やかに隔離し、埋却することが重要である。

- 有効薬剤に対する耐性菌の発生を防ぐため、殺菌剤散布のみに依存した防除を避け、緑肥のすき込みや発病株の抜き取り及び隔離埋却を含めた総合的な管理を行う。

[普及対象地域]

県内全域

[行政上の措置]

[普及状況]

[成果の概要]

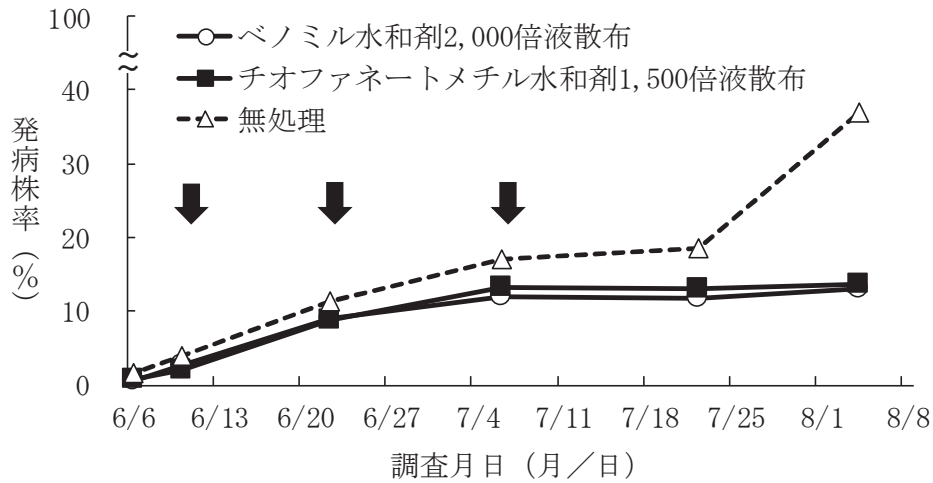


図1 茎腐病に対する薬剤処理の効果 (平成28年)

注1) 汚染圃場 (多発条件) において5月12日に「おおまさり」を播種し、発病株を除去せずに実施

注2) ↓は薬剤散布のタイミングを示す

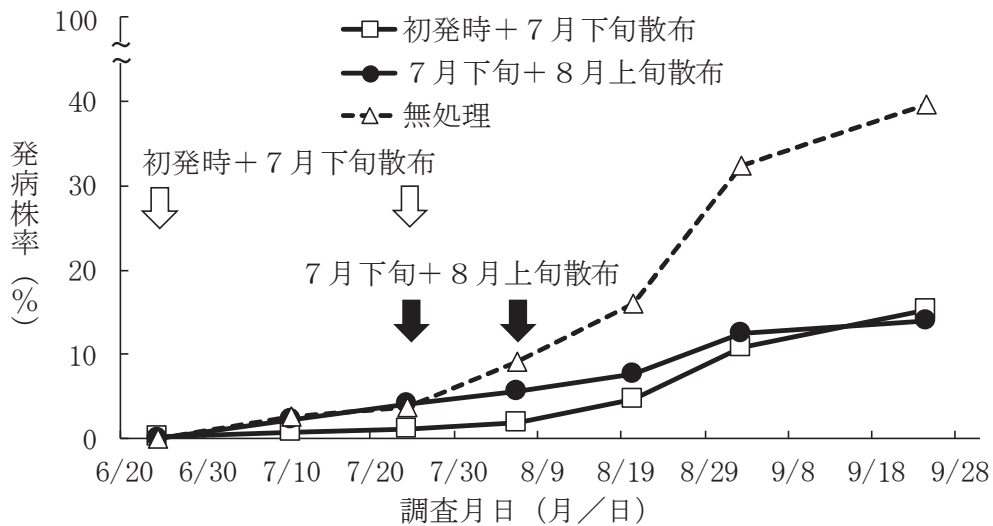


図2 薬剤処理時期の異なる圃場における発病株率の推移 (平成27年)

注1) 汚染圃場 (多発条件) において5月27日に「おおまさり」を播種し、発病株を除去せずに実施

2) ↓のタイミングでチオファネートメチル水和剤1,500倍液を散布

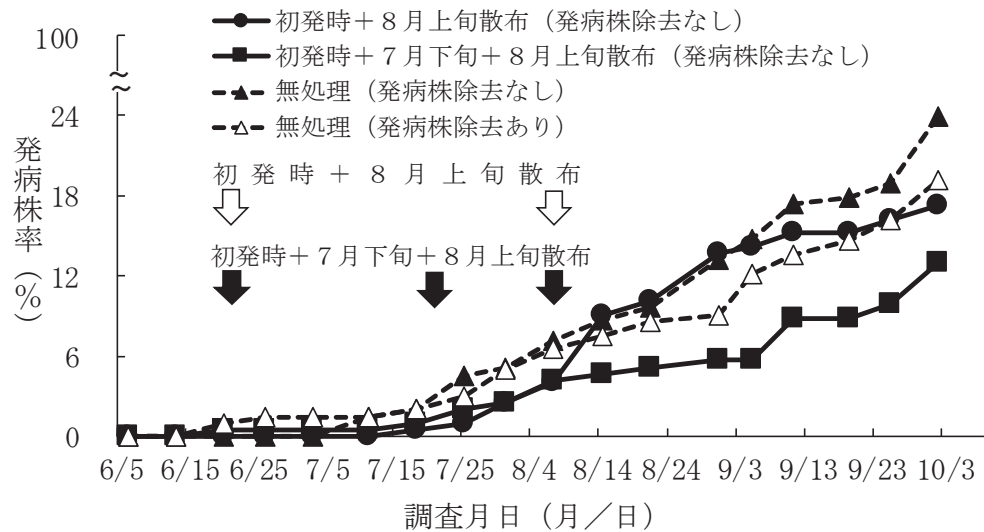


図3 薬剤処理時期の異なる圃場における発病株率の推移 (平成29年)

注1) 汚染圃場 (少発条件) において5月24日に「おおまさり」を播種して実施

2) ↓のタイミングでチオファネートメチル水和剤1,500倍液を散布

3) 初発時+8月上旬散布では播種時にチウラム水和剤を種子塗沫処理

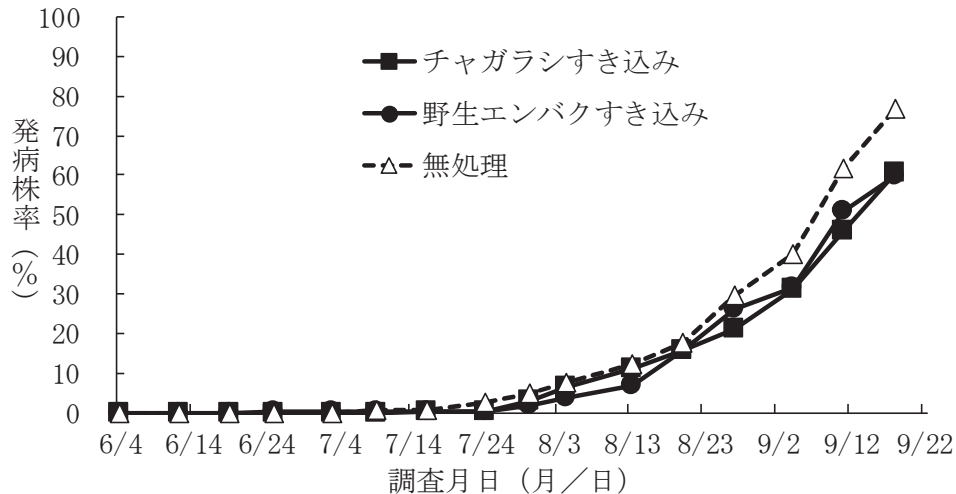


図4 緑肥をすき込んだ圃場における発病株率の推移 (平成30年)
 注) 汚染圃場 (多発条件) において5月21日に「おおまさり」を播種し、発病株を除去して実施

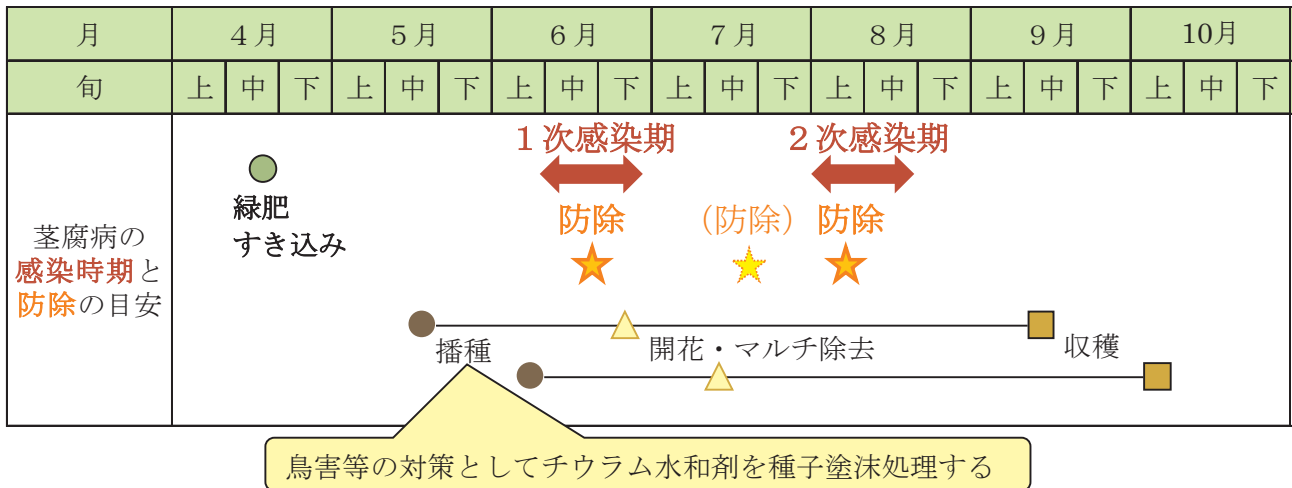


図5 茎腐病等の病害及び鳥害に効果的な防除体系

- 注1) 生育期の防除にはチオファネートメチル水和剤又はベノミル水和剤を使用する
 2) 1次感染期の時点で発病が多い場合には、7月中に2回目の防除を行う
 3) 被害拡大防止のため、発病株を発見次第除去する

[発表及び関連文献]

- 1 平成30年度試験研究成果発表会 (作物部門)
- 2 高野ら、ラッカセイ茎腐病に対するチウラム剤の種子塗沫処理及びチオファネートメチル剤の茎葉散布による防除効果、千葉県農林総合研究センター研究報告、第7号、2015年
- 3 緊急技術開発促進事業「落花生の高品質生産技術の確立」研究成果集 (平成30年3月)

[その他]

緊急技術開発促進事業「落花生の高品質生産技術の確立」(平成27~29年度)